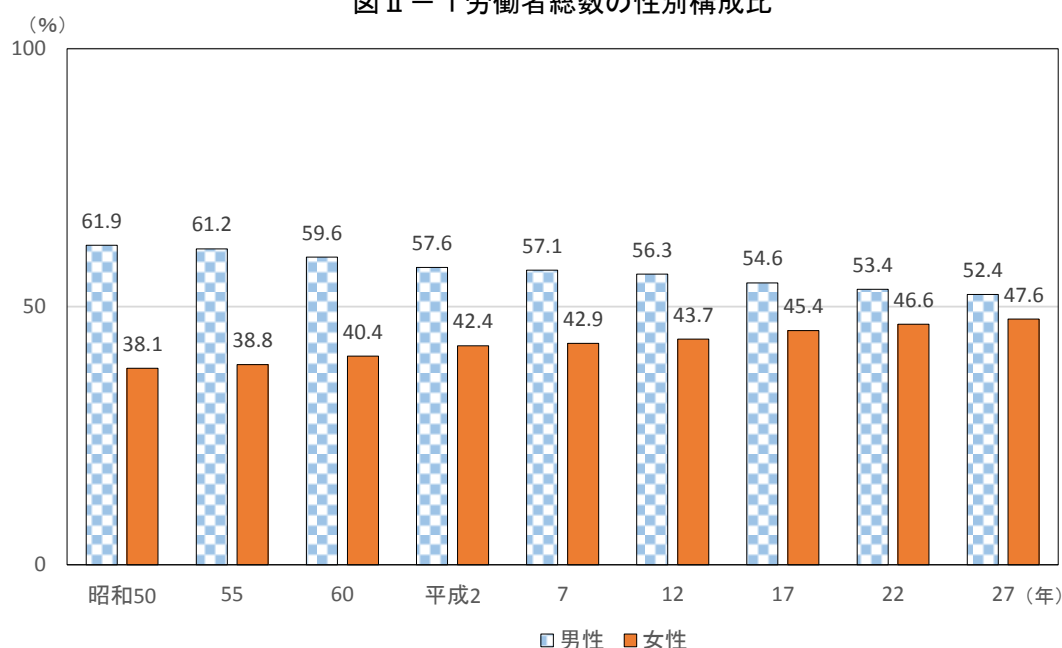


Ⅱ 労働

1. 女性の就労状況

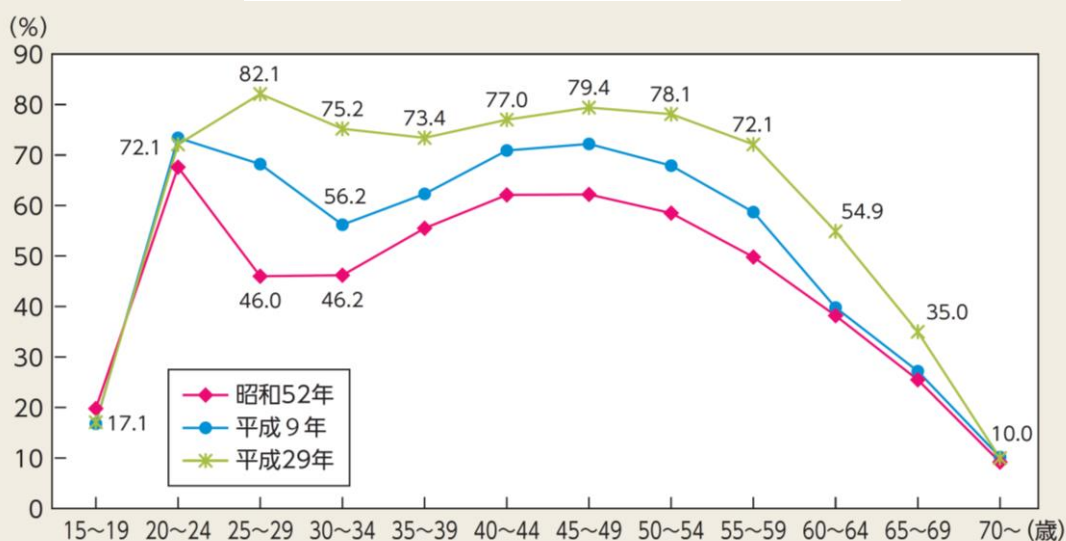
女性の労働者数は増加しており、労働者に占める女性の割合も増加している。女性の労働力率は、結婚、出産、子育て期に低下し、子育てが一段落すると再び労働市場に参入する M 字型になる。このいわゆる「M 字カーブ」のくぼみは以前に比べて浅くなっている。また、M 字の底となる年齢は、昭和 52 年は 25～29 歳が底であったが、平成 29 年では 35～39 歳となっている。

図Ⅱ－1 労働者総数の性別構成比



資料出所：国勢調査

図Ⅱ－2 女性の年齢階級別労働力率の推移（国）



(備考) 1. 総務省「労働力調査（基本集計）」より作成。
 2. 労働力率は、「労働力人口（就業者＋完全失業者）」／「15歳以上人口」×100。

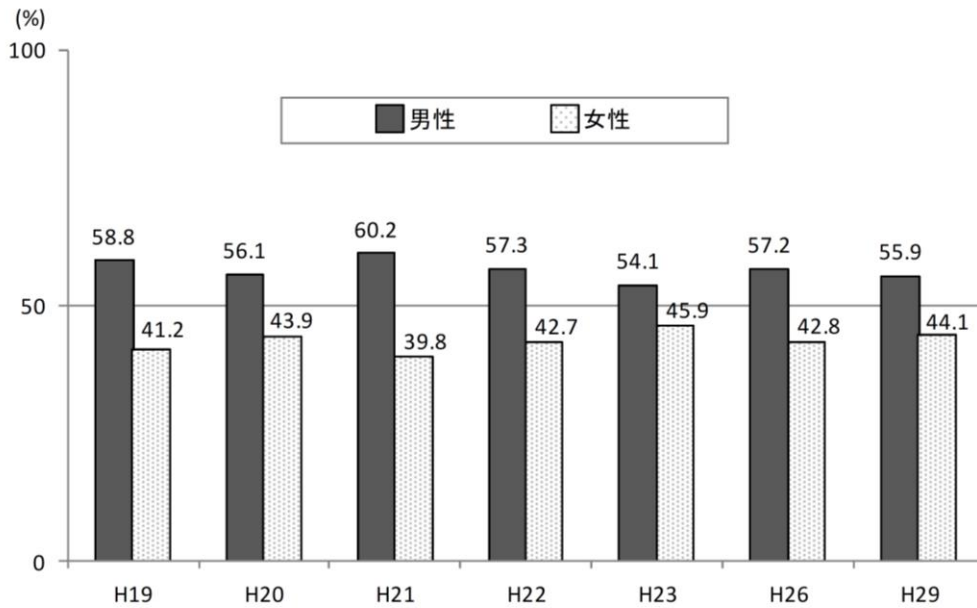
資料出所：内閣府「平成 30 年版男女共同参画白書」

2. 労働者の性別構成

常用労働者の性別構成比は近年、男性が6割弱、女性が4割強で推移している。

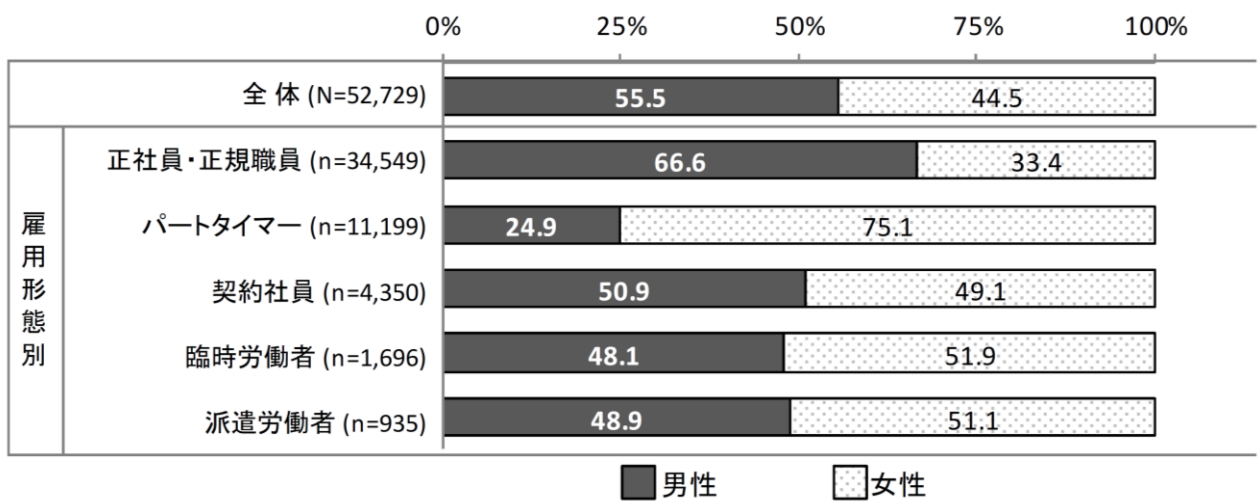
しかし、雇用形態別にみるとパートタイマーで女性が75.1%、男性が24.9%と女性の割合が高くなっている。契約社員、臨時労働者、派遣労働者では、男女の割合はほぼ同じである。

図Ⅱ－3 常用労働者の性別構成比



資料出所：「平成 29 年度 久留米市雇用実態調査」

図Ⅱ－4 労働者の性別構成比（雇用形態別）



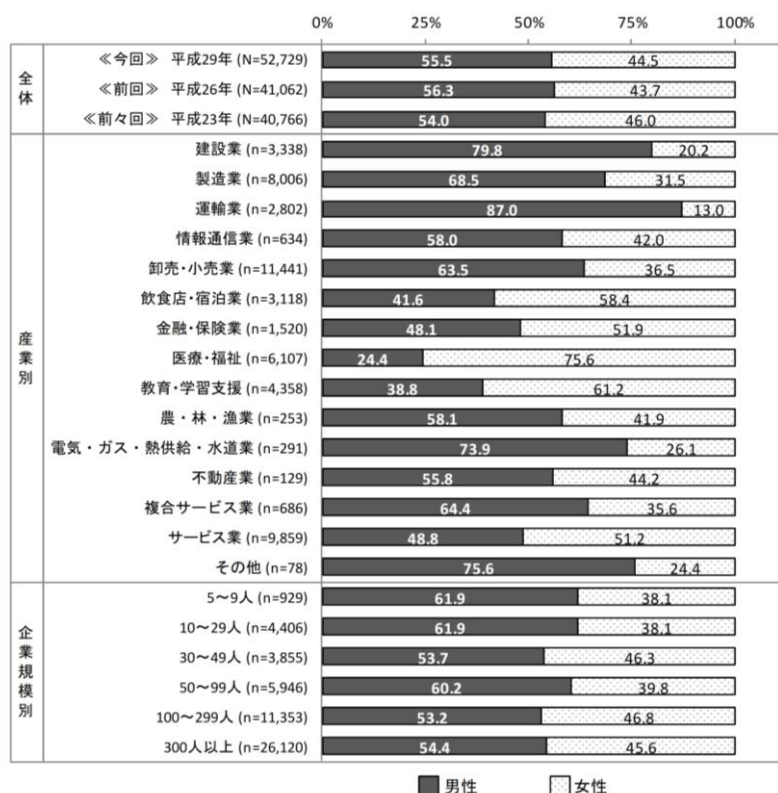
資料出所：「平成 29 年度 久留米市雇用実態調査」

・産業別、企業規模別の性別構成比

産業別の性別構成比をみると、女性は「医療・福祉」で75.6%、次に「教育・学習支援」の分野で61.2%と高くなっている。男性は「運輸業」で87.0%、「建設業」で79.8%と高くなっている。

企業規模別の性別構成比では、いずれの規模でも男性の割合が女性よりも高い。

図Ⅱ－5 労働者の性別構成比（全体、産業別、企業規模別）



資料出所：「平成 29 年度 久留米市雇用実態調査」

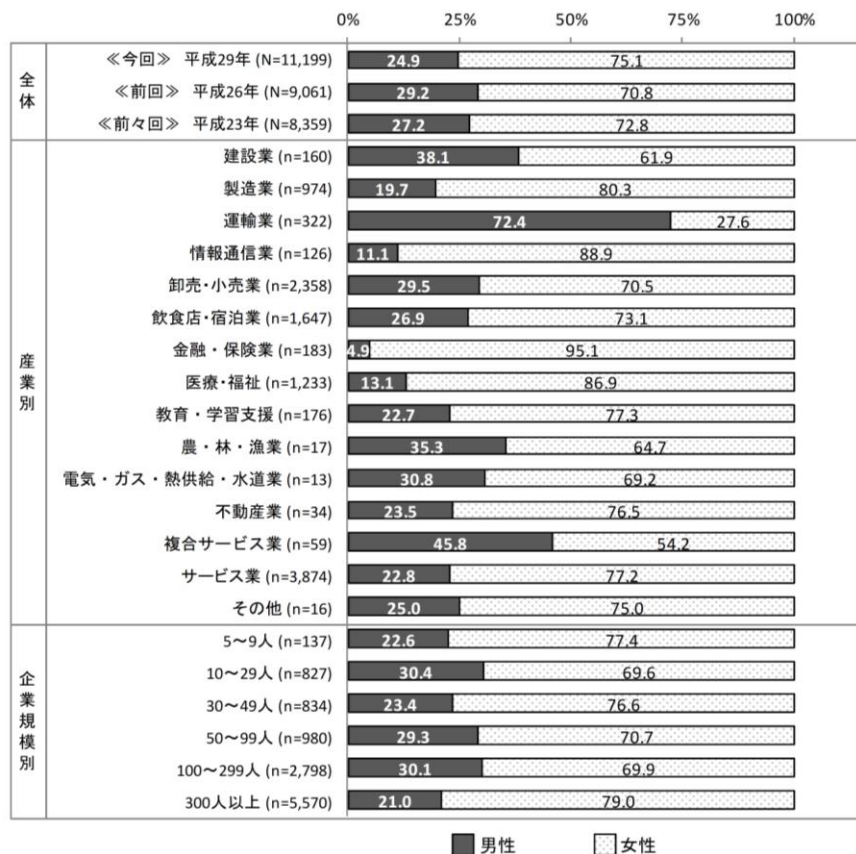
・パートタイマーの

産業別性別構成比

ほとんどの産業で女性の割合が男性の割合より高く、特に「金融・保険業」では95.1%と高くなっている。男性は「運輸業」で72.4%と高くなっている。

企業規模別にみると、いずれの規模でも女性の割合が男性より高く、300人以上の規模の企業で79.0%と最も高くなっている。

図Ⅱ－6 パートタイマーの性別構成比（全体、産業別、企業規模別）

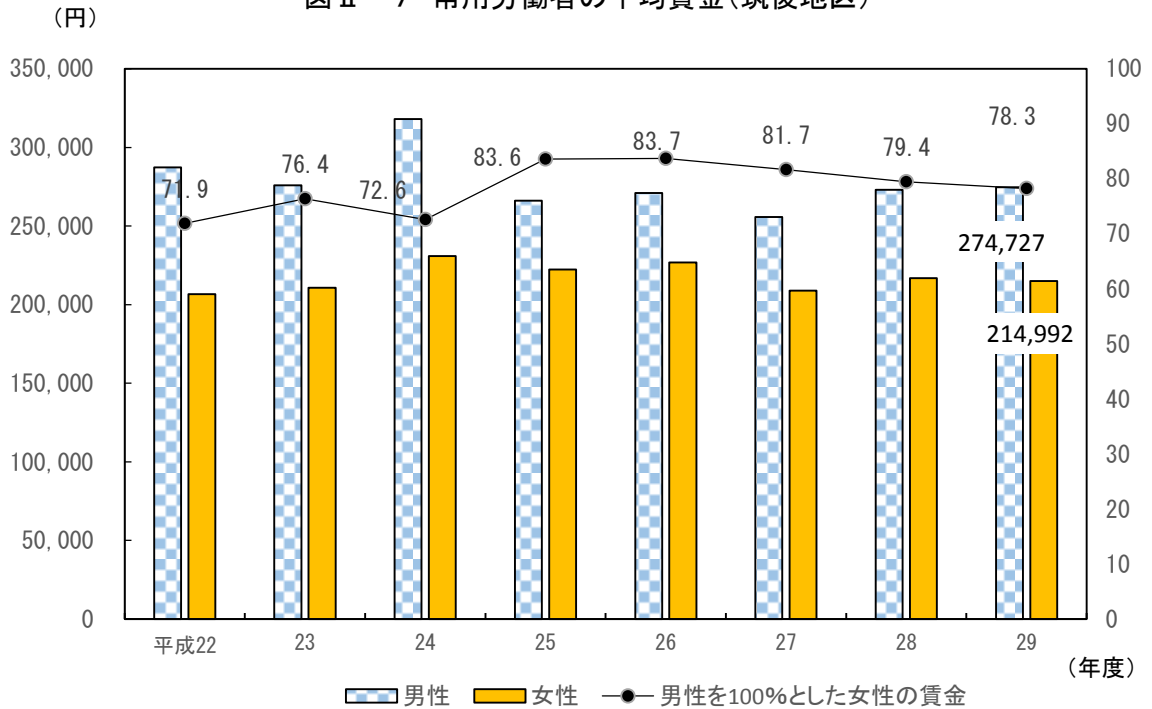


資料出所：「平成 29 年度 久留米市雇用実態調査」

3. 男女別の所定内給与(筑後地区)

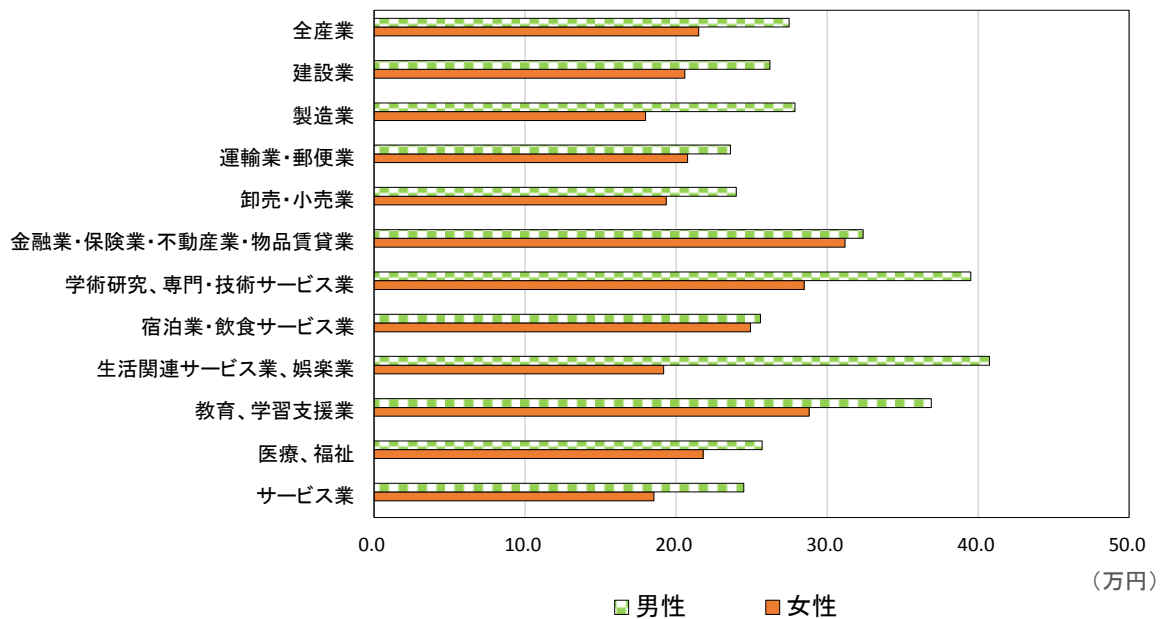
平成29年の筑後地区男性の平均賃金は274,727円であるのに対し、女性は214,992円であり、男性を100とした女性の指数は78.3である。所定給与の男女間格差が大きい業種は、生活関連サービス業、娯楽業で、男女別の格差が小さいのは、宿泊・飲食サービス業である。

図Ⅱ-7 常用労働者の平均賃金(筑後地区)



資料出所：「平成29年度福岡県の賃金事情」

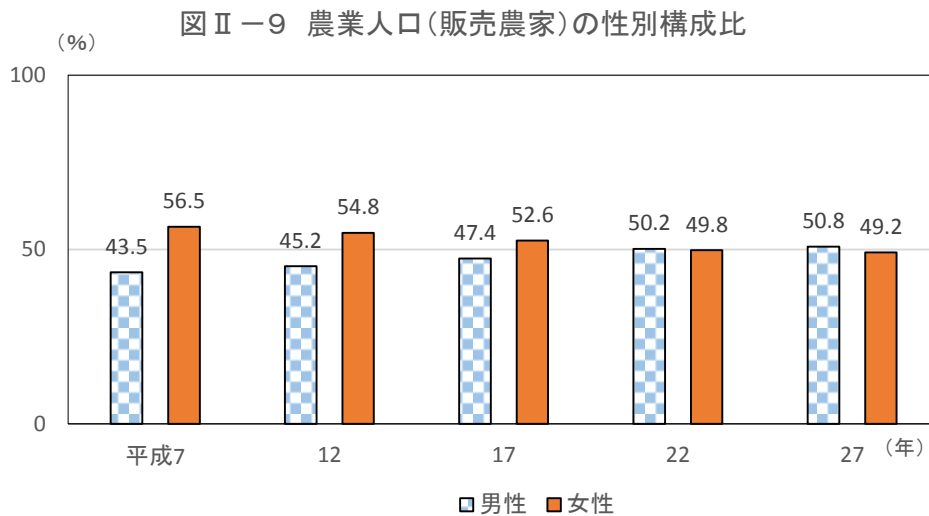
図Ⅱ-8 常用労働者の所定内給与(筑後地区、産業別)



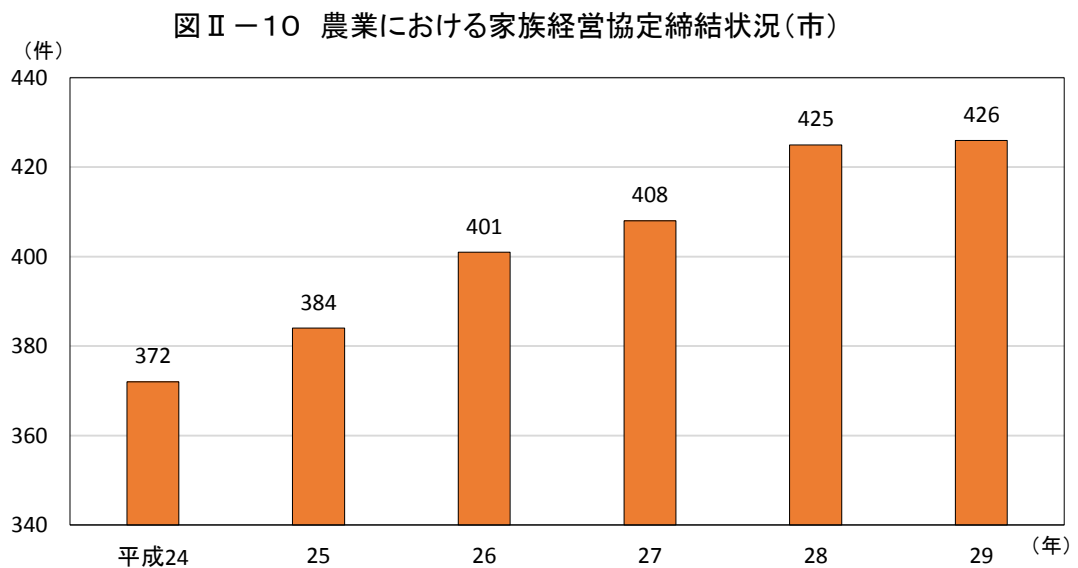
資料出所：「平成29年度福岡県の賃金事情」

4. 農業就業人口（販売農家）に占める女性の割合（市）

女性の農業就業者は、近年若干減少傾向にあるものの、おおよそ半数を占めており、農業経営において女性は大きな担い手となっていると言える。



資料出所：農林業センサス

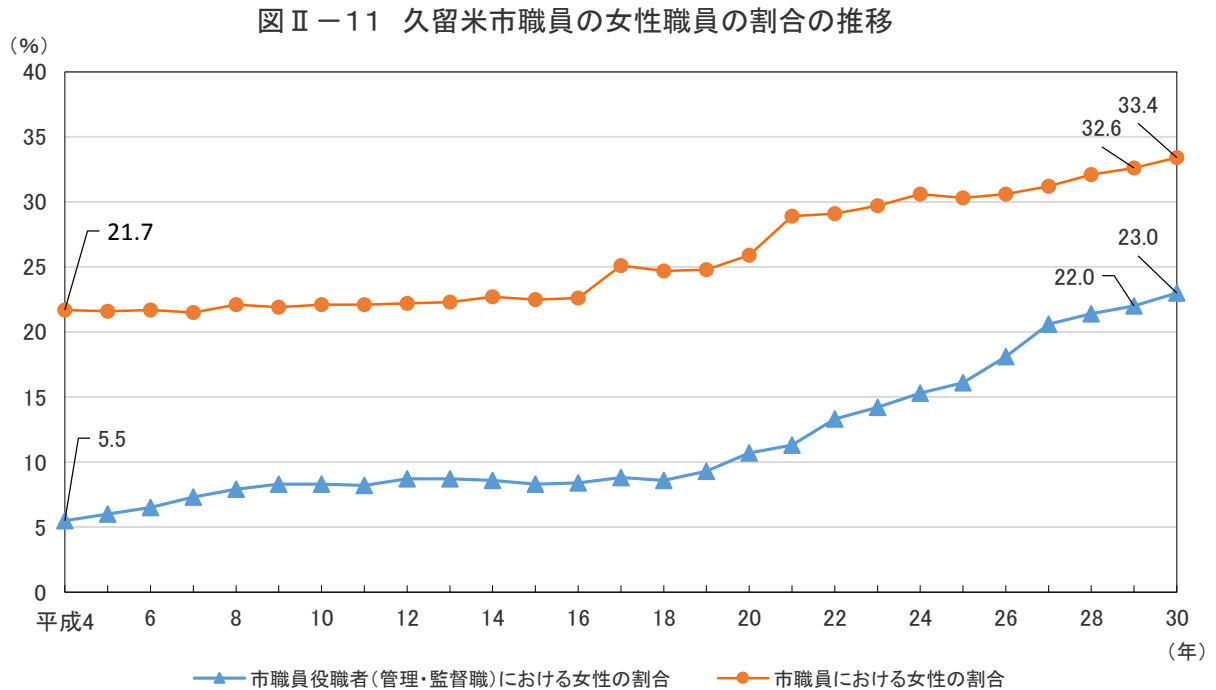


資料出所：市農政課

*家族経営協定は、農業経営を行う上での、労働報酬、休日、労働時間、家事や農事の役割分担について、家族内で取り決める取り組みであり、年々増加傾向にある。

5. 市職員における女性の割合

久留米市の職員の女性職員の割合は、平成4年時の21.7%から増加しており、平成30年には33.4%となっている。同様に市職員の役職者（管理・監督職）も平成4年の5.5%から平成30年には23.0%に増加している。



資料出所：市人事厚生課